

①旧滝部小学校本館 (豊北歴史民俗資料館)



「東洋の化粧品王」と称された滝部村出身の中山太一氏と弟豊三、喜助の三兄弟が大正 13 年 (1924) に滝部

小学校校舎を寄付した。昭和 54 年 (1979) 3 月県有形文化財に指定された。滝部小学校移転に伴って豊北町歴史民俗資料館に衣替えし、さらに下関市と豊浦郡合併に伴って市立豊北歴史民俗資料館となる。その後耐震改修工事(4 カ年)により新装し、平成 23 年 (2011) 11 月ルネッサンス様式の瀟洒(しょうしゃ)な建物が再びオープンし、文化振興の要となっている。